



令和 3年10月 5日  
港湾局 海洋・環境課

### 令和3年度

## 「第1回 地球温暖化防止に貢献するブルーカーボンの役割に関する検討会」開催 ～ブルーカーボン生態系の活用に向けた取組の推進～

国土交通省港湾局では脱炭素社会実現への貢献を目指し、カーボンニュートラルポート（CNP）の形成に向けた取組を進める中、CO<sub>2</sub>吸収源の選択肢として注目される、ブルーカーボン生態系<sup>※</sup>の活用に向け具体的な検討を進めるため、今年度第1回目となる「地球温暖化防止に貢献するブルーカーボンの役割に関する検討会」を開催します。

※ブルーカーボンとは藻場や干潟などの海洋生態系に蓄積される炭素のことであり、そうした蓄積作用を有する生態系を「ブルーカーボン生態系」と言います。

国土交通省港湾局では、CO<sub>2</sub>吸収源としてブルーカーボンを活用していく具体的な検討を進めるため、令和元年に検討会を設置し、これまでブルーカーボンによるCO<sub>2</sub>吸収量の定量的評価やブルーカーボンの普及啓発等について検討してきました。

### 記

1. 日 時： 令和3年10月 7日（木）14:00～16:00
2. 場 所： 航空会館（東京都港区新橋 1-18-1 5F 501・502会議室）
3. 主な議題：
  - ・ 昨年度の検討結果と今年度の検討内容について
  - ・ ブルーカーボンのインベントリ<sup>※1</sup>、NDC<sup>※2</sup>への組み込みに向けて
  - ・ ブルーカーボン・オフセット・クレジット制度<sup>※3</sup>試行について 等

※1：一国が一年間に排出・吸収した温室効果ガスの量を取りまとめたデータ（目録）  
※2：パリ協定に基づく、温室効果ガス削減目標についての「自国が決定する貢献」  
※3：藻場の保全活動等の実施により創出されたCO<sub>2</sub>吸収量をクレジットとして認証し、CO<sub>2</sub>削減を図る企業・団体等とクレジット取引を行う制度
4. 委 員： 別紙参照
5. そ の 他： 検討会は傍聴不可。ただし、カメラ撮りは冒頭のみ可。  
検討会終了後、同会場内で記者ブリーフィングを行う予定。  
※取材を希望される方は、10月7日（木）12時までに、下記の渡邊・栗田メールアドレスへご連絡下さい。

#### 【お問合せ先】

港湾局 海洋・環境課

【電話：03-5253-8685（直通）、03-5253-8111（内線 46654、46682）】

渡邊：watanabe-h22i@mlit.go.jp、

栗田：kurita-k89ff@mlit.go.jp

地球温暖化防止に貢献するブルーカーボンの役割に関する検討会

委 員 名 簿

〔敬称略・順不同〕

[委 員]

木場 弘子 フリーキャスター・千葉大学 客員教授  
木村 尚 NPO法人海辺つくり研究会  
桑江 朝比呂 海上・港湾・航空技術研究所 港湾空港技術研究所  
沿岸環境研究グループ長  
佐々木 淳 東京大学大学院新領域創成科学研究科 教授  
佐藤 淳 三菱UFJリサーチ&コンサルティング株式会社 主任研究員  
中村 圭吾 土木研究所つくば中央研究所水環境研究グループ 上席研究員  
堀 正和 水産研究・教育機構水産資源研究所 水産資源研究センター  
社会・生態システム部 沿岸生態系暖流域グループ グループ長

[行政関係者]

農林水産省 農村振興局 整備部 防災課  
水産庁 増殖推進部 研究指導課  
水産庁 漁港漁場整備部 防災漁村課  
国土交通省 総合政策局 環境政策課  
国土交通省 水管理・国土保全局 保全課海岸室  
国土交通省 港湾局 海岸・防災課  
環境省 地球環境局 総務課研究調査室  
環境省 自然環境局生物多様性センター

[オブザーバー]

ジャパンプルーエコノミー技術研究組合  
横浜市温暖化対策統括本部  
福岡市港湾空港局  
一般財団法人 港湾空港総合技術センター

[事 務 局]

国土交通省 港湾局 海洋・環境課